

## ■スペイン：欧州委員会、スペインの2020年再エネ目標（20%）達成を疑問視

2014年3月17日付の現地紙は、EUのエッチンガー・エネルギー担当委員は「スペインは現行のままでは一次消費エネルギーに占める再エネ比率を2020年に20%に引き上げるというEUの義務的目標を達成できないと思われ、欧州委員会はこうした問題を是正するための諸措置を講ずる権利を留保している」と指摘した、と報じている。欧州統計局のデータによれば2012年のスペインの再エネ比率は14.3%であった。エッチンガー委員の指摘のきっかけとなったのはトレモサ欧州議会議員の質問で、同議員はコジェネ設備による電力の買取価格を過去に遡って40%値下げし、300万ユーロの売電収入の払い戻しを求めるとするソリア産業相の意図によってカタルーニャ州のコジェネ設備が全廃されることは問題として、政府の措置の合法性、およびそれによる再エネ比率達成への影響を問うた。これに対し、エッチンガー委員は「委員会はスペイン当局との対話を通じて同国の電力部門の改革を近くから見守っており、それによるコジェネと再エネの展開に対する影響を分析している」と文書で回答した。